

「タイヘンダ〜ッ！オハナガ！」

「タノシカッタネ」



プランタの花が地面に落ちて
落ちていることに気がいた
2歳児のFちゃん。



どうしてかな？ 花の回りにクラスの
子どもたちが集まっ
てきました。

カワイソウ。
イタイカナ？

オハナ、
オチテル…。



それじゃあ、カップの
お水の中に入れて
あげようか？

ウン！
ソウシヨウ。



ヨカッタネ！

カワイイ！

花に
言葉をかける子どもたちの
やさしい気持ちか伝わって
きました。

ヨカッタネ。
オミズ、
オイシイ？

子どもたちの感性を大切にしていきたい
と思っています。



水あそびの時、2歳児のGちゃんは、
じょうごに水を入れている保育士の
そばにやってきました。

テ！（かいて）

じょうごを使いたいの？
はい、どうぞ。



Gくんは、じょうごに水を入れると、
ペットボトルに移そうとするのですが、
水は、サッと流れ落ちてしまいます。



Gちゃんは思わず目を丸くして空っぽの
じょうごを見つめました。



その後、Gちゃんは、何度もじょうごに
入れた水を運ぶことにチャレンジしま
した。そして、ペットボトルにほんの
少し水が入るとにっこり！

他の容器ではなく、
じょうごを使って
あそびたいGちゃん
の、楽しくワクワク
している気持ちが
伝わってきました。

水がなくなる不思議に気づいた
うれしさが、Gちゃんのあそびへの意欲に
つながっていることを感じさせられました。
水あそびの後、「タノシカッタネ」とつぶやく
友だちの言葉にこっくりとうなずくGちゃんの
姿がありました。